

開催日時：平成16年 6月25日 16:00-18:00

開催場所：セコムSCセンター 3-1会議室

出席者：見城武秀氏 牧野洋子氏 中山廣明氏 川井信良氏 大久保康夫氏  
堀池喜一郎氏 城所吉次氏 檜山啓示氏 (全員出席)

武蔵野三鷹ケーブルテレビ株式会社  
山口忠弘 島野浩二 事務局 佐々木一雄

議題に入る前に、初めての参加者もあり、各自自己紹介を行った。

## 議事

### 議題

#### 1. 武蔵野三鷹ケーブルテレビ(株)の最近の経営状況その他について

山口社長より、15年度の事業実績・加入状況・コミチャン視聴世帯等を資料に基づき説明。又、今後の課題として「デジタル化」についての取り組み姿勢やその問題点について説明があった。

- ・ 会社の黒字化について
- ・ 三鷹市の60%武蔵野市の51%に当社のケーブルが接続
- ・ インターネットの普及状況など

本件についての委員からの質問、意見

- ・ アナログからデジタルへ移行する際、コミュニティCHは、どうなるのか？
- ・ 50%を超える視聴可能世帯は、更に向上するのか？

局：コミュニティCHのデジタル化、その送出方式については、未だ不確定要素もあるので、確答は出来ないが、当社の死活問題でもあり、いずれ、行政にも協力を頂く局面もある。

#### 議題2. 武蔵野三鷹ケーブルテレビ(株)の最近のコミュニティCHの制作放映状況について

佐々木ディレクターより15年度の実績を中心に、自主放送・受託放送・VP制作・講習会・市民テレビ局・等についての説明と、最近の視聴者の要望・傾向について感想が、あった。

本件についての委員からの質問・意見

- ・ 再送信家庭への、コミュニティCHの告知を他の媒体を使って行うこと。
- ・ 放送サービスにとって、コミュニティCHがキーポイントとは、どんなビジネスモデルなのか？インターネットの方が向いていないか？
- ・ パークシティーニュースのファンは、意識の高い方が多いので、社会問題にも取り組むべきだし、行政への批判などあるべき。

その他の議題

むさしのみたか市民テレビ局の最近の活動と、全国からの注目度アップについて。

原点に戻り、視聴者の要望や意向、コミュニティーチャンネルへの期待を、謙虚に調査すべき。との指摘。